



# 日本集中治療医学会 第3回関東甲信越支部学術集会

プログラム・抄録集

会期 2019年 7月27日(土)

会場 甲府記念日ホテル

会長 松田 兼一  
山梨大学医学部 救急集中治療医学講座 教授

「集中治療 ～次の頂へ～」

# 日本集中治療医学会 第3回関東甲信越支部学術集会

プログラム・抄録集

## 「集中治療 ～次の頂へ～」

会期 2019年 7月27日(土)

会場 甲府記念日ホテル

会長 松田 兼一  
山梨大学医学部 救急集中治療医学講座 教授



# 日本集中治療医学会第3回関東甲信越支部学術集会 開催にあたって

日本集中治療医学会第3回関東甲信越支部学術集会

会 長 松田 兼一 山梨大学医学部  
救急集中治療医学講座



この度日本集中治療医学会第3回関東甲信越支部学術集会会長を仰せつかりました、山梨大学医学部救急集中治療医学講座の松田兼一でございます。大変光栄なことと学会員の皆様に深く感謝いたします。

学会のテーマを“集中治療 一次の頂きへー”とし、2019年7月27日(土曜日)山梨県甲府市にございます甲府記念日ホテル(旧甲府富士屋ホテル)にて開催いたします。

ご存知の通り、日本集中治療医学会は1974年に設立され、わが国における最重症患者の治療に大きく貢献しております。また、本学会とは別に、「集中治療医学ならびにこれと関連する学問の進歩向上、会員間の交流を図る。」目的で7つの地方会が本会と同様に運用されて来ました。地方会のさらなる活性化を企図に、2017年から、地方会は本会に統合吸収され現在に到っています。本会は関東甲信越地方会から関東甲信越支部学術集会へと変更された第3回目の支部学術集会となります。私としましてはリニューアルしたこの支部会を成功裡に終わらせ、山梨はもとより関東甲信越地方に集中治療分野で貢献したいと考えております。

さて、集中治療における治療技術は昨今著しい進歩を遂げているものの、改善・進歩の余地がまだまだ充分にあります。我々はその先を目指して進んで行かなければならないという思いをこのテーマに込めました。

特別講演として千葉大学名誉教授の平澤博之先生に「SSC guidelines の光と陰」についてご講演頂きます。作成・使用が難しい集中治療分野のガイドラインについて改めて考える貴重な機会になると確信しております。さらに教育講演は、医師部においては集中治療専門医テキスト第3版の著者に担当箇所について自ら講演をして頂きます。看護部、臨床工学部においては、今話題となっている ECMO 管理について第一人者の方にご講演をお願い致しました。またシンポジウムは私のライフワークである血液浄化に関するもの1つだけに抑え、多くの学会員の方に職種を超えて熱い議論をして頂きたく、パネルディスカッションのテーマを5つ用意致しました。シンポジウムおよびパネルディスカッションの演者は一部指定ではございますが、広く公募致しました。また新しい取り組みとして2ラウンド制の Pros vs Cons セッションを3つ用意しました。本セッションでは Pros の立場と Cons の立場から各ラウンドで、攻守交代してご講演頂き、お一人で両方の立場からご意見を主張して頂きます。多くの会員にご参加頂き、議論を盛り上げて頂ければ幸いです。集中治療のプロとして、我々は最新の治療における功罪を十分理解した上で治療の適応を考えなければなりません。集中治療を行う際に我々は心の中で Pros と Cons のそれぞれの考えを常に思い巡らし、患者さんの目の前で日々葛藤しています。治療そのものの理解だけではなく集中治療専門家の方々の日頃の考え方も参考になると思います。楽しみにして下さい。

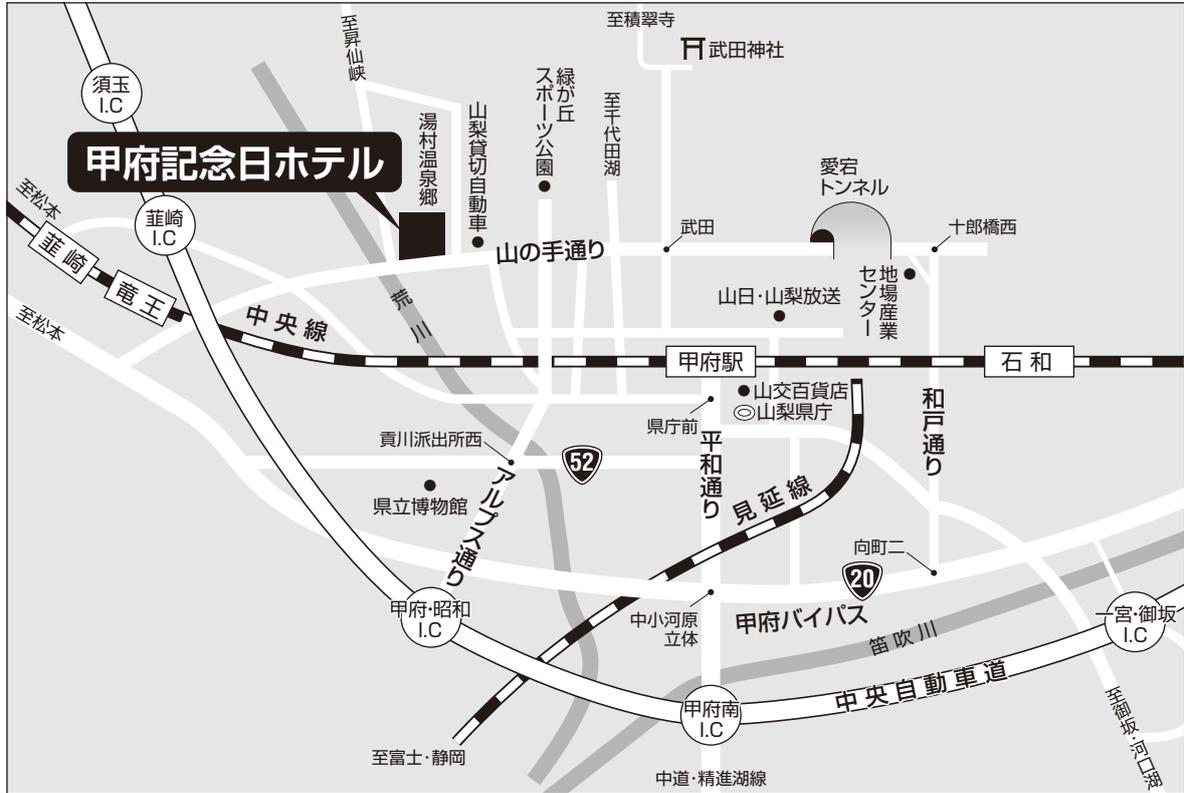
実り多い支部会になるためには、学会員の皆様の多数のご参加が必要不可欠です。山梨の地に足をお運び頂ければ幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

# 会場アクセス

大会会場：甲府記念日ホテル

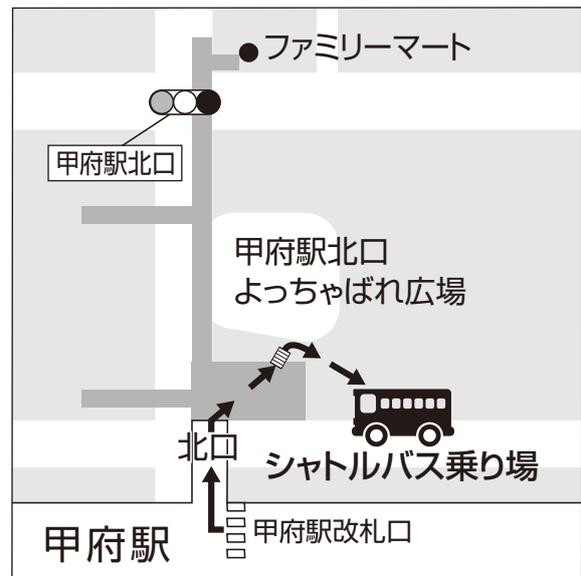
〒400-0073 山梨県甲府市湯村3-2-30

TEL：055-253-8111 FAX：055-253-5200



## 【アクセス】

- お車の場合：
  - 中央自動車道昭和ICより約15分
  - 中央自動車道双葉SA(スマートIC)より約10分
- 電車の場合：
  - 中央線甲府駅北口からタクシーで約10分



### シャトルバス発着所

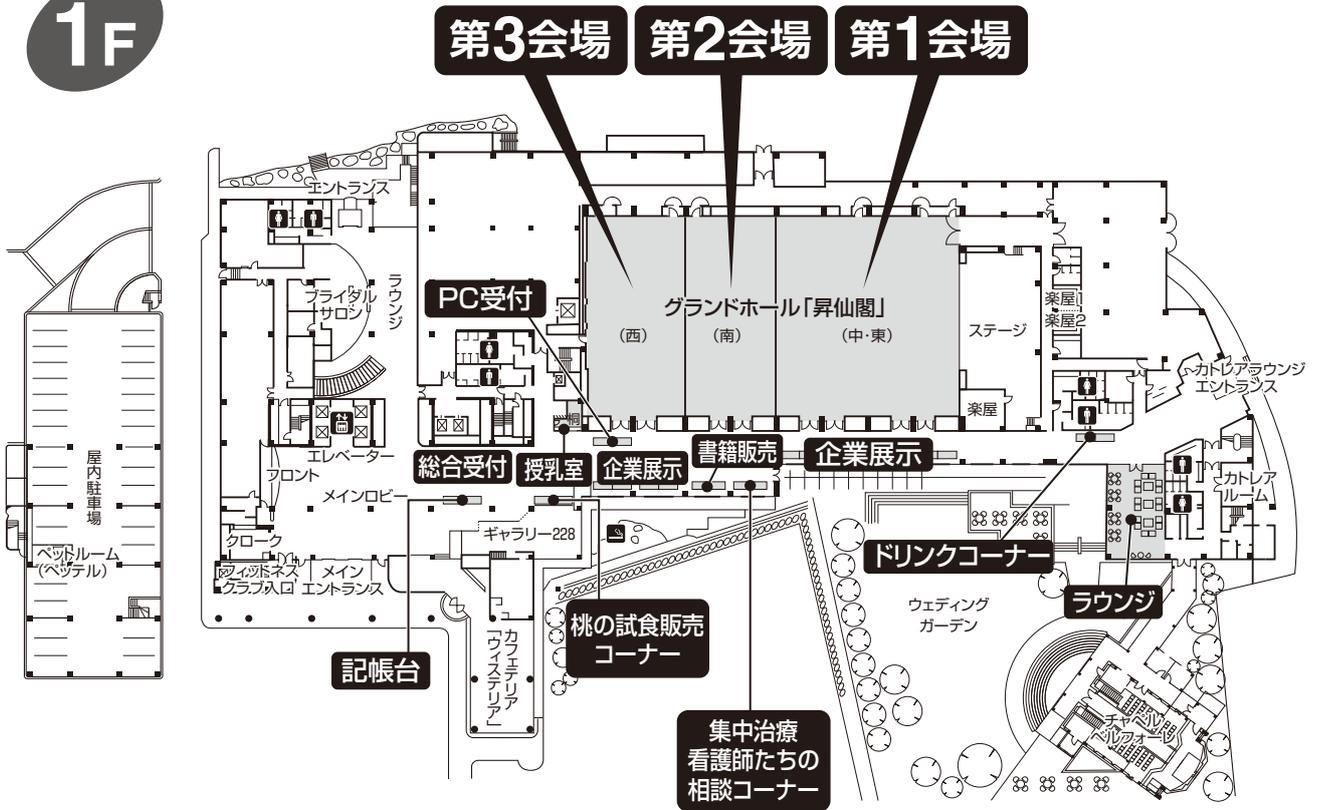
改札を出て、右(北口)へ向かい、階段またはエスカレーターで1Fへ降り、右に進んでください。  
プロムナード下に発着所があります。  
※乗り場付近にはトイレ、喫煙場所があります。

列車名(参考)	新宿発	松本発	甲府着	シャトルバス 甲府駅北口発	シャトルバス 学会会場着
あずさ4号		6:50	7:55		
あずさ71号	6:28		8:08	8:15	8:35
あずさ1号	7:00		8:27	8:35	8:55
かいじ73号	7:03		8:39	8:45	9:05
あずさ51号	7:15		9:02		
あずさ6号		8:00	9:03		
あずさ3号	7:30		9:07	9:10	9:30
あずさ5号	8:00		9:28	9:35	9:55
あずさ53号	8:02		9:42		
あずさ8号		8:40	9:46		
かいじ55号	8:14		9:59	10:05	10:25
かいじ1号	8:30		10:14		
あずさ10号		9:10	10:16	10:30	10:50
あずさ7号	9:00		10:35	10:45	11:05

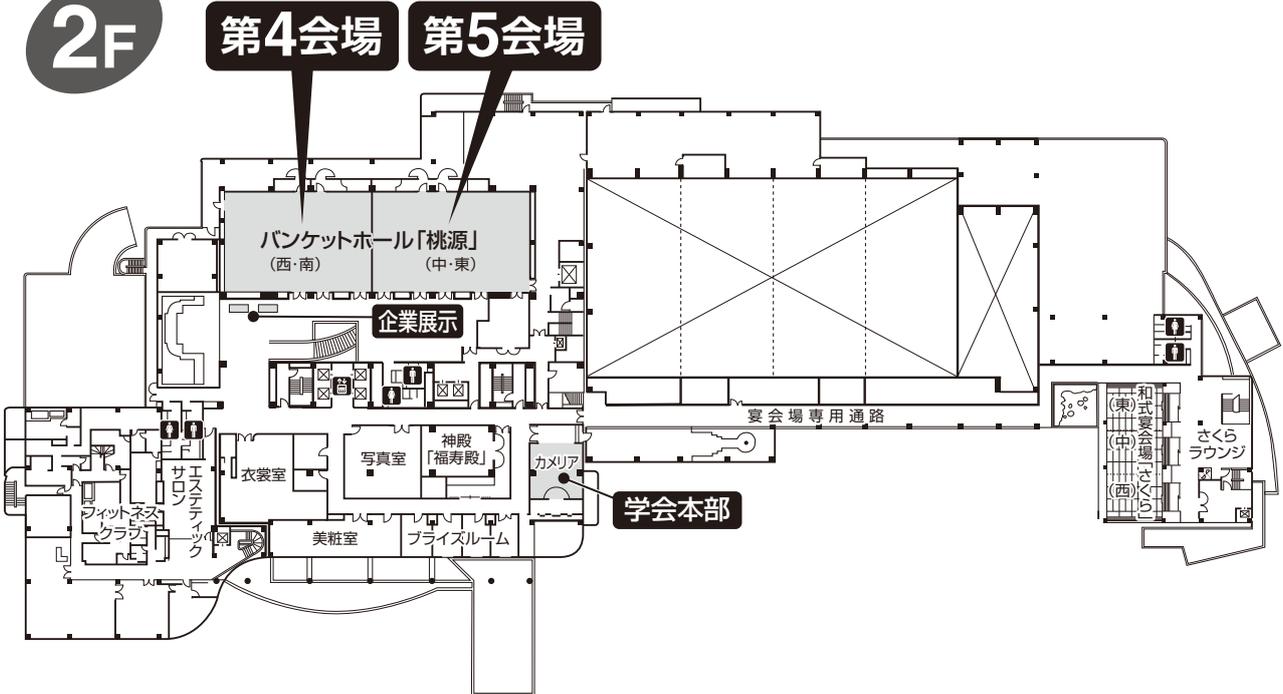
シャトルバス 学会会場発	シャトルバス 甲府駅北口着	列車名(参考)	甲府発	新宿着	松本着
14:20	14:40	あずさ20号	14:54	16:24	
14:40	15:00	かいじ16号	15:12	16:58	
		あずさ19号	15:26		16:38
15:20	15:40	あずさ22号	15:54	17:23	
		かいじ18号	16:11	17:51	
16:00	16:20	あずさ21号	16:27		17:37
		あずさ24号	16:31	18:04	
16:30	16:50	あずさ26号	17:01	18:34	
17:00	17:20	あずさ23号	17:28		18:34
		あずさ28号	17:36	19:06	
17:10	17:30	かいじ20号	17:45	19:27	
17:40	18:00	あずさ25号	18:29		19:37
		あずさ30号	18:35	20:10	

# 会場案内図

1F



2F



## 諸会議のご案内

7月26日(金)

---

支部運営委員会	16:00～17:00	4階「花梨」
支部連絡協議会	17:20～17:50	2階「桃源」
キックオフミーティング	18:00～	10階「クリスタルルーム」

会 場：甲府記念日ホテル

住 所：〒400-0073 山梨県甲府市湯村3-2-30

諸会議の前に学術集会の参加受付を行います。

参加費：医師 10,000円、コメディカル 5,000円

初期研修医・入職2年未満のコメディカル 3,000円

学生(大学院生を除く) 無料

キックオフミーティング参加費：2,000円 名誉会員は無料

# 学術集会参加者へのご案内

## ■学術集会参加者の皆様方へ

### 1. 参加受付

受付にて参加申し込みを済ませていただき、名札(参加証・領収書)をお受け取りください。会場内では必ず名札をご着用ください。

参加証についている参加登録票(提出用)に必要事項をご記入のうえ、提出票部分を参加受付付近に設置されている回収箱にお入れください。

日 時：2019年7月27日(土) 8:15～16:30

場 所：甲府記念日ホテル 1F 総合受付カウンター

### 2. 学会参加費・抄録集販売費

医師・一般・企業関係者	10,000円
看護師・臨床工学技士・その他医療職	5,000円
初期研修医・入職2年未満のコメディカル <sup>*1</sup>	3,000円
学生(大学院生を除く) <sup>*2</sup>	無 料
抄録集	2,000円

※1 職員証などの身分証明および免許取得後2年未満であることの所属長の証明(様式は自由)の提示が必要です。

※2 学生は学生証などの身分証明の提示が必要です。

### 3. Best Presentation Award 演題、若手優秀演題の選出について

最優秀演題賞・奨励賞、若手優秀演題賞の選考を行います。結果発表および表彰は閉会式において行います。

### 4. クローク

日 時：2019年7月27日(土) 8:15～18:00

場 所：甲府記念日ホテル 1F 入口付近

### 5. 共催セミナー

当日朝より整理券を先着順にてお1人様に1枚配布いたします。受付にて参加を希望されるセミナーの整理券をお受け取りください。

## 6. 呼び出し

原則的に呼び出しはいたしません。

## 7. 写真撮影など

発表演題の写真撮影、ビデオ撮影、録音は禁止いたします。

## 8. メディア取材の方へ

- 会場内での無断での撮影・録音はお断りしております。
- 取材のご希望は本部にて取材許可を得、取材時は自社腕章を着用してください。
- 会長、各講演座長、スタッフなどの指示に従ってください。
- 個別の発表内容については各社の責任において演者の承諾をあらかじめ得てください。
- 講演中のフラッシュ撮影、シャッター音や移動など、講演の妨げとなる行為はご遠慮ください。

## 9. 会期中の問い合わせ先(学会本部)

甲府記念日ホテル内 学会本部 TEL：055-253-8111(代表)

## 10. e 医学会カードによる参加登録に関して

- 日本集中治療医学会で実施している「e 医学会カード」による参加登録をいたします。日本集中治療医学会会員でe 医学会カードをお持ちの方は、会期当日会場にお持ちになり、学会事務局デスクにて参加登録を行ってください。
- e 医学会カードによる参加登録を行いますと、e 医学会マイページの「専門医単照会」または「参加履歴照会」のページに表示され、当該画面を印刷して証明書類としてご利用いただけます。是非ご活用をお願いいたします。

## 11. その他

- 会場内では、携帯電話をマナーモードに設定ください。
- 会場1F ロビーで Wi-Fi がご利用いただけます。

## ■座長・発表者へのご案内

### 1. 進行情報

セッション名	発表	質疑	事前打ち合わせ
シンポジウム	10分	2分	無し
パネルディスカッション1	10分	2分	無し
パネルディスカッション2	12分	3分	9:00～
パネルディスカッション3	10分	1分	11:00～
パネルディスカッション4	12分	発表時間を含む	10:00～
パネルディスカッション5	12分	発表時間を含む	14:20～
一般演題	6分	2分	

事前打ち合わせ会場：10F「ローズコート」

シンポジウム、パネルディスカッションは個別発表の後に総合討論あり

### 2. 座長の皆さまへ

- 参加受付後、座長受付カウンターにお立ち寄りください。
- 担当セッション開始15分前には、会場前方の「次座長席」にご着席ください。
- 各演題の発表開始前に「演題名」及び「発表者所属・氏名」の紹介をお願いします。
- 一般演題の座長の先生方におかれましてはご担当のセッションの中の若手優秀演題賞の評価対象演題のご評価、ご担当のセッション全ての演題に対して Best Presentation Award 選出のためのご評価をお願いいたします。

### 3. 発表者の皆さまへ

#### ●PC 発表データの受付

ご発表当日セッション開始30分前までに PC センターにてデータ受付を行ってください。

データ受付場所	時間
1F 総合受付奥 PC センター	8:15～16:30

- 発表の10分前までには「次演者席」にお座りください。

●PC 発表ファイル持ち込みによるご発表の場合

- こちらで準備する PC は Windows10、プレゼンテーション用のアプリケーションは Powerpoint2016 です。作成された発表ファイルは事前に同環境で再生可能なことをご確認ください。
- フォントは OS 標準フォントをご使用ください。  
日本語 MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝  
英語 Arial, Century, CenturyGothic, TimesNewRoman
- ファイルサイズは100MB 以下としてください。
- ファイルはご発表後、事務局で責任を持って消去いたします。

●PC 本体持ち込みによる発表の場合

- Macintosh で作成されたファイルの場合、プレゼンテーションに動画を含む場合にはご自分の PC をお持ちください。
- こちらで準備する接続コネクタは D-sub mini 15pin です。
- スクリーンセーバーや省電力設定は off に設定をお願いいたします。

●利益相反 (Conflict of Interest : COI) に関する情報開示について

- すべてのセッションの演者は、発表演題に関する COI 開示にご協力ください。
- 医療系職種従事者の公正な科学的立場を示す意味で、学術発表時にスライドの冒頭で COI 表示を原則としてお願いいたします。
- COI の開示スライドのサンプルは、学会ホームページよりダウンロードすることができます。

<https://www.jsicm.org/about/coi.html>

7月26日金

甲府記念日ホテル

7月27日土

第1会場

1F 昇仙閣 (中・東)

第2会場

1F 昇仙閣 (南)

8:50	
9:00	
10:00	
11:00	
12:00	
13:00	
14:00	
15:00	
16:00	16:00~17:00 支部運営委員会 会場：4F 花梨
17:00	17:20~17:50 支部連絡協議会 会場：2F 桃源
18:00	18:00~20:00 キックオフ ミーティング 会場：10F クリスタルルーム

8:50~9:00	開会式
9:00~10:20	パネルディスカッション 1 ECMO 施行中の多職種連携の実際 座長：市場 晋吾、西田 博 演者：山中 光昭、濱口 純、宮下 亮一、服部 憲幸、増山 素道
10:30~11:50	パネルディスカッション 2 集中治療における終末期医療の実際 座長：長島 道生、八木橋 智子 演者：鈴木 優太郎、加藤 建吾、島内 淳二、長島 道生
12:00~13:00	ランチョンセミナー 1 患者にやさしい ECMO 管理 演者：小倉 崇以 座長：田上 隆 共催：泉工医科工業株式会社
13:10~14:10	特別講演 Surviving Sepsis Campaign Guidelines (SSCG) の光と陰 演者：平澤 博之 座長：松田 兼一
14:20~15:40	パネルディスカッション 3 集中治療における 早期リハビリテーションの実際 座長：布宮 伸、野村 岳志 演者：川村 雄介、野村 智久、関根 利江、戎 初代、小松 由佳
15:50~17:10	シンポジウム 集中治療における血液浄化戦略 座長：讃井 将満、森口 武史 演者：望月 勝徳、中村 謙介、小谷 祐樹、高橋 希、浅野 健吾
17:10~17:20	閉会式
	表彰式： Best Presentation Award 演題 若手優秀演題表彰

9:00~9:50	教育講演 1 集中治療における侵襲と生体反応 演者：織田 成人 座長：池田 寿昭
10:00~10:50	教育講演 2 妊産婦と集中治療 演者：森崎 浩 座長：林 淑朗
11:00~11:50	教育講演 3 ECMO 装着中の患者の看護における “best practice” とは何か？ 演者：亀ヶ谷 泰匡 座長：神山 淳子
12:00~13:00	ランチョンセミナー 2 ICU 領域における急性腎障害診断 —尿中バイオマーカー L-FABP の可能性の検討— 演者：野入 英世 座長：志賀 英敏 共催：シミックホールディングス株式会社・富士レビオ株式会社
14:20~15:10	教育講演 4 急性心不全治療を見直す —今行っている本当に治療が妥当なのか？— 演者：佐藤 直樹 座長：高瀬 凡平
15:20~16:10	教育講演 5 人工呼吸中のモニタリングの課題 演者：小谷 透 座長：大塚 将秀
16:20~17:10	教育講演 6 ECPR における V-A ECMO 管理のポイント 演者：三木 隆弘 座長：山下 芳久

7月27日土

第3会場

1F 昇仙閣 (西)

第4会場

2F 桃源 (西・南)

第5会場

2F 桃源 (中・東)

8:50			
9:00	<p>9:00~9:50 Pros vs Cons セッション 1 重症患者に対する栄養療法は早期から積極的に開始されるべきである 座長：貞広 智仁 演者：大島 拓、松田 明久</p>	<p>9:00~9:56 一般演題 1 中枢神経・鎮静・早期離床 座長：加藤 崇央、戸部 賢</p>	<p>9:00~9:56 一般演題 7 肝臓・消化器 座長：佐々木 純、星野 正己</p>
10:00	<p>10:00~10:50 Pros vs Cons セッション 2 重症患者に対する血液浄化療法は早期から積極的に開始されるべきである 座長：土井 研人 演者：森實 雅司、相馬 泉</p>	<p>10:00~10:56 一般演題 2 循環器 座長：守谷 俊、山本 剛</p>	<p>10:00~10:56 一般演題 8 その他 1 座長：大槻 穰治、小竹 良文</p>
11:00	<p>11:00~11:50 Pros vs Cons セッション 3 重症呼吸不全に対する ECMO は早期から積極的に開始されるべきである 座長：服部 憲幸 演者：萩原 祥弘、鈴木 裕之</p>	<p>11:00~11:56 一般演題 3 呼吸器 座長：大嶋 清宏、関口 幸男</p>	<p>11:00~11:56 一般演題 9 看護管理・患者管理 座長：田山 聡子、比田井 理恵</p>
12:00	<p>12:00~13:00 ランチョンセミナー 3 Emergency EEG Anywhere, Anytime Save Brains 演者：奥寺 敬 座長：坂本 哲也 共催：日本光電工業株式会社</p>	<p>12:00~13:00 ランチョンセミナー 4 血液浄化療法のロマン ～頂の向こうへ～ 演者：中村 謙介 座長：鈴木 武志 共催：バクスター株式会社</p>	
13:00			
14:00			
14:20	<p>14:20~15:40 パネルディスカッション 4 集中治療におけるタスクシフトとタスクシェア 座長：石井 宣大、梶原 吉春 演者：三木 隆弘、安達 一真、森實 雅司、八反丸 善裕、志村 欣之介</p>	<p>14:20~15:00 一般演題 4 倫理・終末期・移植 座長：武居 哲洋、渡辺 郁子</p>	<p>14:20~15:00 一般演題 10 その他 2 座長：岩下 具美、三宅 康史</p>
15:00		<p>15:10~15:50 一般演題 5 医療安全・事故防止 座長：佐藤 武志、古市 結富子</p>	<p>15:10~15:50 一般演題 11 血液浄化法 座長：相嶋 一登、志賀 英敏</p>
15:50	<p>15:50~17:10 パネルディスカッション 5 回復の促進と生活の質の向上を目指した非薬理的な看護介入のコツ 座長：茂呂 悦子、吉田 紀子 演者：新山 和也、尾崎 裕基、清田 和弘、古厩 智美</p>	<p>16:00~17:10 一般演題 6 多臓器不全・敗血症・感染症 座長：鹿瀬 陽一、北村 伸哉</p>	<p>16:00~17:10 一般演題 12 ECMO・人工心臓 座長：鈴木 裕之、山本 裕子</p>
17:00			
18:00			

# プログラム

2019年7月27日(土) 甲府記念日ホテル

## 第1会場 1F 昇仙閣(中・東)

8:50~9:00 **開会式**

9:00~10:20 **パネルディスカッション1**

座長：市場 晋吾(日本医科大学附属病院 外科系集中治療科)  
西田 博(東京品川病院)

### [ ECMO 施行中の多職種連携の実際 ]

#### PD1-1 ECMO における多職種連携—臨床工学技士の担う役割

山中 光昭 日本大学病院 臨床工学室

#### PD1-2 多摩総合 ECMO センターにおける respiratory ECMO 管理中の多職種連携

濱口 純 東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター・多摩総合 ECMO センター

#### PD1-3 ECMO 立ち上げへの院内活動ロードマップとは? ～ respiratory ECMO を中心に～

宮下 亮一 昭和大学病院 集中治療科

#### PD1-4 ECMO 下搬送における多職種連携の実際

服部 憲幸 千葉大学大学院 医学研究院 救急集中治療医学

#### PD1-5 ECMO における多職種連携 —理学療法士の立場から—

増山 素道 日本医科大学付属病院 リハビリテーション室

10:30~11:50 **パネルディスカッション2**

座長：長島 道生(東京医科歯科大学医学部附属病院 集中治療部)  
八木橋 智子(自治医科大学附属さいたま医療センター)

### [ 集中治療における終末期医療の実際 ]

#### PD2-1 終末期、DNAR 患者への Rapid Response Team の役割

鈴木 優太郎 北里大学医学部 麻酔科学

#### PD2-2 当院での集中治療における終末期患者への看護師の介入の実際と課題

加藤 建吾 公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院 特定集中治療室

#### PD2-3 救急・集中治療領域における終末期医療の現状と課題：看護師からの視点

島内 淳二 日本医科大学付属病院

**PD2-4 集中治療における終末期医療  
当院における多職種カンファレンスの現状**

長島 道生 東京医科歯科大学医学部附属病院 集中治療部

12:00～13:00 **ランチョンセミナー1**

共催：泉工医科工業株式会社

座長：田上 隆（日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急科）

**LS1 患者にやさしい ECMO 管理**

小倉 崇以 済生会宇都宮病院 救急・集中治療科  
栃木県救命救急センター 副センター長

13:10～14:10 **特別講演**

座長：松田 兼一（山梨大学医学部 救急集中治療医学講座）

**SL Surviving Sepsis Campaign Guidelines (SSCG) の光と陰**

平澤 博之 千葉大学 名誉教授  
医療法人社団明生会 総長

14:20～15:40 **パネルディスカッション3**

座長：布宮 伸（学校法人自治医科大学 自治医科大学附属病院 集中治療部）

野村 岳志（東京女子医科大学 集中治療科）

[ 集中治療における早期リハビリテーションの実際 ]

**PD3-1 当院における ICU での早期リハビリテーション**

川村 雄介 公立昭和病院 リハビリテーション科

**PD3-2 当院における早期リハビリテーションの試みと課題**

野村 智久 順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科

**PD3-3 当院における早期リハビリテーションの実際**

関根 利江 自治医科大学附属病院 リハビリテーションセンター

**PD3-4 患者にとって効果的であるために、私たちができること**

戎 初代 国際医療福祉大学 成田病院準備事務局

**PD3-5 重症患者の QOL 改善を目的とした早期リハビリテーションの実際**

小松 由佳 杏林大学医学部付属病院

座長：讚井 将満(自治医科大学附属さいたま医療センター 麻酔科 集中治療部)  
森口 武史(山梨大学医学部 救急集中治療医学講座)

[ 集中治療における血液浄化戦略 ]

**S-1** 信州大学医学部附属病院高度救命救急センターにおける  
急性血液浄化療法の施行戦略

望月 勝徳 信州大学医学部 救急集中治療医学教室

**S-2** septic cardiomyopathy に対する急性血液浄化療法の位置づけ

中村 謙介 日立総合病院 救急集中治療科

**S-3** 亀田総合病院 ICU の血液浄化療法

小谷 祐樹 医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 集中治療科

**S-4** 敗血症における血液浄化戦略と血中 IL-6 測定の意義

高橋 希 千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学

**S-5** 東京慈恵会医科大学附属病院集中治療部における血液浄化療法

浅野 健吾 東京慈恵会医科大学附属病院 集中治療部

9:00～9:50 **教育講演1**

座長：池田 寿昭(東京医科大学八王子医療センター 特定集中治療部)

**EL1 集中治療における侵襲と生体反応**

織田 成人 千葉大学 名誉教授  
千葉市立海浜病院 救急科

10:00～10:50 **教育講演2**

座長：林 淑朗(医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 集中治療科)

**EL2 妊産婦と集中治療**

森崎 浩 慶應義塾大学 医学部 麻酔学教室

11:00～11:50 **教育講演3**

座長：神山 淳子(自治医科大学附属病院 看護部(冠動脈集中治療部))

**EL3 ECMO 装着中の患者の看護における“best practice”とは何か？**

亀ヶ谷 泰匡 日本医科大学付属病院 外科系集中治療室

12:00～13:00 **ランチョンセミナー2** 共催：シミックホールディングス株式会社・富士レビオ株式会社

座長：志賀 英敏(帝京大学ちば総合医療センター 救急集中治療センター)

**LS2 ICU 領域における急性腎障害診断  
—尿中バイオマーカー L-FABP の可能性の検討—**

野入 英世 国立国際医療研究センター(NCGM)

14:20～15:10 **教育講演4**

座長：高瀬 凡平(防衛医科大学校病院 集中治療部)

**EL4 急性心不全治療を見直す  
—今行っている本当に治療が妥当なのか？—**

佐藤 直樹 かわぐち心臓呼吸器病院 循環器内科

15:20～16:10 **教育講演5**

---

座長：大塚 将秀(横浜市立大学附属市民総合医療センター 集中治療部)

**EL5 人工呼吸中のモニタリングの課題**

小谷 透 昭和大学病院 集中治療科

16:20～17:10 **教育講演6**

---

座長：山下 芳久(埼玉医科大学 保健医療学部 臨床工学科)

**EL6 ECPR における V-A ECMO 管理のポイント**

三木 隆弘 日本大学病院 臨床工学室

9:00～9:50 **Pros vs Cons セッション1**

座長：貞広 智仁(東京女子医科大学 八千代医療センター 集中治療部)

[ 重症患者に対する栄養療法は早期から積極的に開始されるべきである ]

**PCS1-1** 重症患者に対する栄養療法は早期から積極的に開始されるべきである

大島 拓 千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学

**PCS1-2** 消化器外科医からみた重症患者に対する早期栄養療法の是非

松田 明久 日本医科大学付属病院 消化器外科

10:00～10:50 **Pros vs Cons セッション2**

座長：土井 研人(東京大学医学部附属病院 救急部 集中治療部 救命救急センター)

[ 重症患者に対する血液浄化療法は早期から積極的に開始されるべきである ]

**PCS2-1** 重症患者に対する血液浄化療法は早期から積極的に開始されるべきか？

森實 雅司 社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 神奈川県済生会横浜市東部病院 臨床工学部

**PCS2-2** 重症患者に対する血液浄化療法は早期から積極的に開始されるべきである

相馬 泉 東京女子医科大学 臨床工学部

11:00～11:50 **Pros vs Cons セッション3**

座長：服部 憲幸(千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学)

[ 重症呼吸不全に対する ECMO は早期から積極的に開始されるべきである ]

**PCS3-1** 早期 ECMO 導入の功罪  
～ EOLIA trial は epoch-making study だったのか～

萩原 祥弘 栃木県済生会宇都宮病院 救急集中治療科

**PCS3-2** いつ ECMO を開始するか？ 今でしょ？！

鈴木 裕之 前橋赤十字病院 高度救命救急センター 集中治療科・救急科

12:00～13:00 **ランチオンセミナー3**

共催：日本光電工業株式会社

座長：坂本 哲也(帝京大学医学部附属病院 病院長)

**LS3** Emergency EEG Anywhere, Anytime Save Brains

奥寺 敬 富山大学大学院危機管理医学(救急・災害医学)

座長：石井 宣大(慈恵会医科大学葛飾医療センター 臨床工学部)  
梶原 吉春(社会医療法人財団大和会 東大和病院 臨床工学科)

[ 集中治療におけるタスクシフトとタスクシェア ]

**PD4-1** 集中治療におけるタスクシェア  
—医療の質向上のためのタスクシェア—

三木 隆弘 日本大学病院 臨床工学室

**PD4-2** 臨床工学技士が集中治療チームの一員になるには！？

安達 一真 兵庫県立尼崎総合医療センター 診療部 臨床工学

**PD4-3** 体制と質の維持から考える臨床工学技士のタスクシフト

森實 雅司 社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 神奈川県済生会横浜市東部病院 臨床工学部

**PD4-4** 当院における集中治療のタスクシフト・タスクシェア

八反丸 善裕 東京大学医学部附属病院 医療機器管理部

**PD4-5** 当院 ICU における ME 業務内容と今後の展望

志村 欣之介 順天堂大学 医学部附属練馬病院 臨床工学室

座長：茂呂 悦子(学校法人自治医科大学 自治医科大学附属病院 看護部)  
吉田 紀子(獨協医科大学病院看護部 急性・重症患者看護専門看護師)

[ 回復の促進と生活の質の向上を目指した非薬理的な看護介入のコツ ]

**PD5-1** 当院救命救急センター ICU における早期離床を実現するための取り組み

新山 和也 埼玉医科大学国際医療センター 救命救急センター ICU

**PD5-2** 当施設で行われている PICS 予防の実際

尾崎 裕基 東海大学医学部附属八王子病院 看護部 ICU・CCU

**PD5-3** 一般病棟の立場からみた PICS 対策として今できること

清田 和弘 東邦大学医療センター佐倉病院

**PD5-4** 時代が変わり医療が進歩していく中での看護介入の原理

古厩 智美 さいたま赤十字病院 高度救命救急センター HCU

9:00～9:56 一般演題1

[ 中枢神経・鎮静・早期離床 ]

座長：加藤 崇央(埼玉医科大学 総合医療センター 麻酔科)

戸部 賢(国立大学法人群馬大学医学部附属病院 救急部 集中治療部)

- 01-1** 術後せん妄予防にデクスメトミジン持続投与を行った  
胸椎椎弓形成術の周術期管理の1例  
光成 誉明 聖麗メモリアル病院 麻酔科
- 01-2** 全身麻酔後に覚醒遅延をきたした1症例  
山口 聡 東葛病院 麻酔科
- 01-3** ICUにおける重症患者のせん妄発症関連因子についての検討  
吉田 直人 自治医科大学附属さいたま医療センター 集中治療部
- 01-4** ICU 離床フローチャート導入前後の離床の変化  
山田 奈々 群馬大学医学部附属病院
- 01-5** ICDSC 導入後のせん妄に対する看護実践の現状調査  
～集中治療室看護師へのアンケート結果から～  
中島 博子 伊勢崎市民病院
- 01-6** ICU 患者に対する睡眠促進バンドル施行に伴う患者睡眠状況変化  
上野 桃子 自治医科大学附属さいたま医療センター 集中治療部
- 01-7** 大手術により危機に陥る患者へのバランス保持要因の追加を目的とした  
疼痛への関わり  
西口 沙希 独立行政法人国立病院機構 災害医療センター

10:00～10:56 一般演題2

[ 循環器 ]

座長：守谷 俊(自治医科大学附属さいたま医療センター 救急科)

山本 剛(日本医科大学付属病院 心臓血管集中治療科)

- 02-1** 心機能低下と胸水貯留のため緊急帝王切開術を施行し、  
拡張型心筋症が疑われた一例  
鈴木 景子 高崎総合医療センター 麻酔科
- 02-2** 心室頻拍の制御に難渋した CRT-D 埋込後の心サルコイドーシスの一例  
生駒 祐介 慶應義塾大学 医学部 麻酔学教室
- 02-3** 小児心臓手術後の血管透過性亢進による胸腹水貯留に対して  
ピトレシンが有効であった一例  
山田 有希子 長野県立 こども病院

- O2-4** ペースメーカー患者に発症した MRSA 三尖弁感染性心内膜炎の一例  
デバイスの抜去困難例に対する治療ジレンマ  
後藤 崇夫 横須賀市立うわまち病院
- O2-5** esCCO および FloTrac™ により測定される心拍出量の比較  
(末梢血管抵抗の影響)  
寺田 享志 東邦大学 医療センター大森病院 麻酔科
- O2-6** 症候性てんかんを契機にたこつぼ型心筋症を発症した心移植後患者の一例  
鹿間 健志 東京大学医学部附属病院 救命救急センター・ER・集中治療部
- O2-7** 急性 A 型大動脈解離に対する体外循環導入前までの治療戦略の検討  
関 厚一郎 イムス葛飾ハートセンター 麻酔科

11:00～11:56 **一般演題3**

[ 呼吸器 ]

座長：大嶋 清宏 (国立大学法人群馬大学医学部附属病院 救命救急センター)

関口 幸男 (JA 長野厚生連 南長野医療センター 篠ノ井総合病院 救急科・救命センター)

- O3-1** 高流量鼻カニューラ酸素療法中のネブライザ吸入の工夫  
田中 由紀子 自治医科大学とちぎ子ども医療センター 小児集中治療部
- O3-2** 三尖弁感染性心内膜炎による Severe ARDS に対して  
ECMO 導入を回避できた外国籍肥満患者の 1 例  
村上 学 聖路加国際病院 呼吸器内科
- O3-3** 呼吸サポートチームによる呼吸回数の重要性に関する啓発活動と  
その測定調査結果  
横田 泰佑 杏林大学医学部附属病院 麻酔科学教室
- O3-4** 気管切開チューブの長期留置が誘因となり気管内肉芽から窒息を起こした一例  
浦上 雄平 横須賀市立うわまち病院 臨床研修センター
- O3-5** 鍼治療後に生じた両側性気胸の二症例  
山岸 利暢 さいたま市民医療センター 救急総合診療科
- O3-6** 挿管拒否患者の急性呼吸不全に対してヘルメット型マスクで  
非侵襲的陽圧換気を行った一例  
清野 雄介 東京女子医科大学 集中治療科
- O3-7** 高齢のイレウス患者の術後呼吸不全に対し、  
ECMO 管理下の腹臥位療法を導入し、救命した一例  
長谷川 一貴 さいたま赤十字病院 高度救命救急センター

## LS4 血液浄化療法のロマン ～頂の向こうへ～

中村 謙介 日立総合病院 救急集中治療科

### 14:20～15:00 一般演題4

[ 倫理・終末期・移植 ]

座長：武居 哲洋(横浜市立みなと赤十字病院 集中治療部)

渡辺 郁子(日本大学病院 救命救急センター)

#### O4-1 小児集中治療室におけるエンド・オブ・ライフ・ケアの取り組み 一時的猶予の異なる終末期を過ごしたケースを振り返る一

伊藤 孝子 北里大学病院 周産母子成育医療センター PICU

#### O4-2 DNAR の事前指示を示していた間質性肺炎急性増悪患者に対し、 家族が救命を望んだ一事例

加瀬 美郷 地方独立行政法人東千葉メディカルセンター

#### O4-3 *Amanita subjunquillea* 摂取により劇症肝炎を発症し、 生体肝移植により改善した一症例

亀井 大悟 東京女子医科大学 集中治療科

#### O4-4 集中治療室での患者の望ましい死に向けて介入した一例

加藤 建吾 公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院

#### O4-5 ICU での小児の死に直面する家族に対する緩和ケアの一例

加藤 建吾 公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院

### 15:10～15:50 一般演題5

[ 医療安全・事故防止 ]

座長：佐藤 武志(横浜栄共済病院 臨床工学科)

古市 結富子(公益財団法人 日本心臓血圧研究振興会 附属榊原記念病院 麻酔科)

#### O5-1 アンプルカット時に混入したガラス片によると考えられる、 ディスプレイ持続注入器の注入ポートからの液漏れの一例

富岡 義裕 羽生総合病院 救急総合診療科

#### O5-2 当院での中心静脈穿刺合併症に対する医療安全管理部の取り組み

一林 亮 東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター

#### O5-3 HFNC を用いた早期リハビリテーションに医療機器用無停電電源装置の 活用の試み

中島 義博 社会医療法人財団 大和会 東大和病院

**05-4** 集中治療室入室中の患者に発生した医療関連機器圧迫創傷の危険因子の検討  
～発生概念図に基づいて～

坂本 佳津江 伊勢崎市民病院

**05-5** 気管チューブ計画外抜管の傾向と関連因子の探索的検討

安丸 諒 東京女子医科大学東医療センター 看護部

16:00～17:10 **一般演題6**

[ 多臓器不全・敗血症・感染症 ]

座長：鹿瀬 陽一(学校法人慈恵大学 東京慈恵会医科大学附属柏病院 麻酔科)

北村 伸哉(国保直営総合病院 君津中央病院 救命救急センター)

**06-1** 敗血症および敗血症性ショック患者における ICU-AW の特徴と経過

川村 雄介 公立昭和病院 リハビリテーション科

**06-2** Septic shock に対するビタミン C、ビタミン B1、  
ハイドロコルチゾン併用療法の有効性

増山 智之 自治医科大学附属さいたま医療センター 救急科 集中治療部

**06-3** 妊娠24週子宮内胎児死亡、急性心不全を発症し、感染性心内膜炎の診断で  
緊急帝王切開術後2日目に僧帽弁置換術を施行した1症例

渋谷 綾子 群馬大学医学部附属病院 集中治療部

**06-4** *Corynebacterium* sp. による感染性心内膜炎に急性僧帽弁閉鎖不全を合併し  
突然の心停止を起こした一例

倉田 早織 東京慈恵会医科大学 麻酔科

**06-5** ICUでの antimicrobial stewardship program としての time-out 導入効果

三島 有華 東京医科歯科大学医学部附属病院 集中治療部

**06-6** プロカルシトニン値が蜂窩織炎との鑑別に有効であった、  
左上腕壊死性軟部組織感染症の一例

富岡 義裕 羽生総合病院 救急総合診療科

**06-7** A 病棟における創部感染症のリスク背景と看護ケアの検討

武者 汽 独立行政法人国立病院機構 災害医療センター

**06-8** 健常成人に発症した侵襲性肺炎球菌感染症の1例

深澤 寛明 長野赤十字病院 救命救急センター

9:00～9:56 一般演題7

[ 肝臓・消化器 ]

座長：佐々木 純(昭和大学藤が丘病院 救命救急センター)  
星野 正己(医療法人社団大坪会 東和病院 外科)

**07-1** 絞扼性イレウス術後にたこつぼ心筋症による急性心不全を呈した一例

鬼丸 大知 帝京大学 医学部 麻酔科学講座

**07-2** アセトアミノフェン注射液から急性肝不全(昏睡型)となった1例

香月 姿乃 昭和大学藤が丘病院 救急医学科

**07-3** 意識障害の鑑別に脳波検査が有用であった重症肝不全の1例

長谷川 隆一 獨協医科大学 埼玉医療センター 集中治療科

**07-4** ICUにおける経腸栄養プロトコール改訂後の有効性の検討

阿久澤 文彦 群馬大学医学部附属病院

**07-5** 縦郭気腫を伴った十二指腸潰瘍穿孔の一例

山本 咲 東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター

**07-6** 手術前日入院日に突然、昏睡に続き痙攣を認めたウェルニッケ脳症の1例

沖田 綾乃 東京医科大学大学病院

10:00～10:56 一般演題8

[ その他1 ]

座長：大槻 穰治(東京慈恵会医科大学附属第三病院 救急部)  
小竹 良文(東邦大学医療センター大橋病院 麻酔科)

**08-1** 集中治療室(ICU)災害時のアクションカードの見直しと  
アクションカードを用いた訓練の報告

岡田 亜砂子 茨城県立中央病院

**08-2** 大学病院におけるスーパー ICU 化の経験

三田 篤義 信州大学医学部附属病院 集中治療部

**08-3** 東京女子医科大学病院もRRS(Rapid Response System)をはじめました

中川 雅史 東京女子医科大学 集中治療科

**08-4** ICU入室患者比較からみた2次救急病院と3次救命センターの  
集中治療室利用の現状と課題

佐藤 浩之 東京慈恵会医科

**08-5** 平成30年度 DMAT 関東ブロック訓練での多数傷病者受け入れ時の ICU における患者トリアージからの考察

佐藤 浩之 東京慈恵会医科大学附属柏病院 救命センター 救急医学講座

**08-6** 新病院移転時の集中治療部的準備と実際対応について

石井 健 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 集中治療科

**08-7** 呼吸治療に特化した研究会設立と運営、今後の展望

藤本 正弘 IMS(イムス)グループ 横浜旭中央総合病院 臨床工学科

11:00～11:56 **一般演題9**

[ 看護管理・患者管理 ]

座長：田山 聡子(慶應義塾大学病院 GICU)

比田井 理恵(千葉県救急医療センター 看護部)

**09-1** A 病院の集中治療室における PNS 導入の実際と成果  
—ペア共有用紙による PNS 定着に向けて—

中山 舞 山梨大学医学部附属病院 集中治療部

**09-2** 小児集中治療室における気管チューブ固定管理の実際と課題  
—経鼻固定方法の変更後1年のアンケート調査をもとに—

大久保 奏美 北里大学病院 周産母子成育医療センター PICU

**09-3** PICU における心臓血管術後患者の入室時シミュレーション学習の取り組み

鳴海 心光 北里大学病院 周産母子成育医療センター PICU

**09-4** ICU リーター看護師の自己評価の分析から見えた今後の課題

高根澤 真希 公益社団法人 地域振興協会 横須賀市立うわまち病院

**09-5** ECPR に携わる ICU 看護師教育  
ECMO セットの作成とシミュレーション教育の実施

尾形 育美 さいたま赤十字病院 高度救命救急センター ICU

**09-6** 人工呼吸器を装着している患者家族の心理的負担に寄り添う  
ICU ダイアリーの効果

井出 奈緒 独立行政法人 国立病院機構 災害医療センター

**09-7** 集中治療室に新規配属となったスタッフに対する褥瘡予防に関する取り組み  
～患者目線の体験を取り入れた勉強会の実施～

河西 美生 山梨大学医学部附属病院 集中治療室

[ その他2 ]

座長：岩下 具美(長野赤十字病院 救命救急センター)  
三宅 康史(帝京大学医学部附属病院 救急医学講座)

- O10-1** 呼吸困難を主訴に搬送されたメトヘモグロビン血症の一例  
佐藤 彩 東京大学医学部附属病院 救急科 救命救急センター・ER・集中治療部
- O10-2** 重症熱中症における血管内冷却の有用性の検討  
神田 潤 帝京大学 医学部 救急医学講座
- O10-3** 血液培養ボトル充填時間と培養結果判明時間の関連に関する解析  
箕浦 安祐 聖マリアンナ医科大学病院 救急医学
- O10-4** 集学的治療施行における薬物療法の質の向上を指向した  
器官系統別評価に基づく薬剤管理・評価システムの導入における介入効果  
内田 淳 山梨大学医学部附属病院 薬剤部
- O10-5** 突然の背部痛と四肢の運動障害から特発性頸髄硬膜外血腫と診断し、  
非手術的管理により治療しえた1例  
植倉 弘智 東京大学医学部附属病院 救急救命センター・ER・集中治療部

[ 血液浄化法 ]

座長：相嶋 一登(横浜市立市民病院 臨床工学部)  
志賀 英敏(学校法人帝京大学 帝京大学ちば総合医療センター)

- O11-1** 急激な全身状態の悪化を認めたが PMX-DHP が著効した  
超高齢者の下部消化管穿孔の一例  
松浦 千穂 埼玉医科大学 総合医療センター 麻酔科
- O11-2** 敗血症性急性腎障害における尿中 Tissue Inhibitor of Metalloproteinase-2、  
Insulin-like Growth Factor-Binding Protein 7 値の検討  
小口 萌 東京女子医科大学 八千代医療センター 救急科・集中治療部
- O11-3** 開心術後に重症急性胆管炎による敗血症性ショックとなり、  
PMX-DHP と AN69ST 膜による持続血液濾過透析が著効した1例  
中山 純子 慶應義塾大学 医学部 麻酔学教室
- O11-4** 敗血症性急性腎傷害の重症度と血管内皮機能マーカーの関連性  
島 惇 自治医科大学 麻酔科学・集中治療医学講座 集中治療医学部門
- O11-5** 2回目の PMX-DHP で catecholamine index ; CAI が低下した2症例の検討  
小澤 拓郎 SUBARU 健康保険組合 太田記念病院 麻酔科

**O12-1** Bridge to Decision に Impella 5.0 を用いた重症心不全の一例

眞野 暁子 東京都健康長寿医療センター

**O12-2** 川崎病後の冠動脈瘤閉塞により心停止をきたしたが PCPS と Impella による循環補助にて救命し得た一例

木村 徳宏 日本医科大学付属病院 心臓血管集中治療科

**O12-3** 人工肺後圧(P3)が VV-ECMO 管理の鍵となった重症呼吸不全患者の1例

佐藤 裕一 東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター

**O12-4** インフルエンザ肺炎による急性呼吸窮迫症候群に縦隔気腫および気胸を合併し長期体外式膜型人工肺(VV ECMO)の管理で救命し得た1例

合田 浩紀 日本医科大学 千葉北総病院

**O12-5** 挿管困難な患者に VV-ECMO を用いて甲状腺摘出術を施行した症例

大野 慶伍 社会医療法人財団 大和会 東大和病院

**O12-6** 大腿静脈より挿入した膜型人工肺脱血用静脈カテーテルが副肝静脈に迷入した1症例

望月 聡子 群馬大学医学部付属病院 麻酔科 集中治療部

**O12-7** 喘息発作を原因とする難治性の縦隔気腫、両側気胸を伴う重症呼吸不全に対して VV-ECMO を用いて救命し得た7歳男児の症例

源田 雄紀 日本医科大学付属病院 外科系集中治療科

**O12-8** 重症心不全に対して Central ECMO が有効であった2例

岡田 修一 群馬県立心臓血管センター 心臓血管外科

# 抄 録

特 別 講 演

教 育 講 演

ランチョンセミナー

パネルディスカッション

シンポジウム

Pros vs Cons セッション

## SL Surviving Sepsis Campaign Guidelines (SSCG) の光と陰

○平澤 博之

千葉大学 名誉教授  
医療法人社団明生会 総長

SSCG は、集中治療領域で最もよく適用されている国際的ガイドライン (GL) のひとつである。しかしながら最初に策定された2004年には残念ながら日本集中治療医学会 (JSICM) にはその策定委員会への参加要請はなかった。当時 JSICM の理事長を拝命していた私はこの事の重要性を認識し、策定委員会会長の M Levy にメールを発信し、集中治療領域で世界有数の会員数を擁する JSICM を無視することの問題点を訴えた。幸い先方も真摯に受け止めて呉れ、2005年から策定委員会に参加することになり、私が JSICM の代表として参加した。これが JSICM と SSCG の関わりの始まりである。

SSCG が敗血症の救命率改善に大きく寄与したことは間違いのない事実である。しかし SSCG の内容やその適用に関しいくつかの問題もある。まず取り上げられている推奨項目の根拠にはかなり以前に行われた RCT の結果も含まれており、その当時と現在ではそもそも敗血症の定義が異なっているという問題がある。また病態生理の首座をなす Hypercytokinemia の原因である Cytokine の産生に関わる遺伝子多型の分布は Caucasian と日本人の間にはかなりの差異があり、それ故同じ治療法の効果の発現に彼我で差がある可能性があることも問題である。さらには治療の根幹をなすべき Hypercytokinemia そのものに対する対策や Sepsis Survivor が増加した現在問題になっている二つの PICS、Post-Intensive Care Syndrome 及び Persistent Inflammation, Immunosuppression And Catabolism Syndrome 対策についてはほとんど言及されていない。

また GL は広く適用されることが重要ではあるが、New York 州は、2012年に12歳の少年 (Rory Staunton) が受診したにも拘わらず適切な診療を受けられず敗血症で死亡したとのマスコミ報道を契機に、その名前に由来した Rory's Regulation を制定した。その結果医療機関は敗血症の診療に関しては SSCG に準拠することが求められるようになり、医師の診療に関する裁量権や Clinical Judgement が発揮出来なくなってきたという問題も一方ではある。また一般論として、GL に取り上げられるには大規模な RCT で裏打ちされた結果が必要ではあるが、そのような結果を得るには時間を要し、それ故 GL には、大規模 RCT はまだ行われていないがその効果が認められつつある最新の治療法は含まれていないという問題もある。

以上、本講演では SSCG の光と陰について、私見を交えて論じたい。

# 抄 錄

一 般 演 題

## 01-1

### 術後せん妄予防にデクスメトミジン持続投与を行った胸椎椎弓形成術の周術期管理の1例

○光成 誉明<sup>1)</sup>、遠藤 聡<sup>2)</sup>、辻 俊幸<sup>2)</sup>、榊田 宏輔<sup>2)</sup>、  
杉山 耕一<sup>2)</sup>、粕谷 泰道<sup>2)</sup>、佐藤 明善<sup>2)</sup>、  
岡部 慎一<sup>2)</sup>、鎌田 健一<sup>2)</sup>

1) 聖麗メモリアル病院 麻酔科

2) 聖麗メモリアル病院 脳神経外科

【はじめに】術後せん妄既往患者の胸椎椎弓形成術において、術中よりデクスメトミジン (DEX) を使用し術後せん妄を予防できた症例を経験したので報告する。

【症例】70代女性。脊椎固定術後隣接椎間障害に対し胸椎椎弓形成術が予定された。過去3回他院にて全身麻酔下に手術を受けた際にいずれも術後せん妄を来したと患者から申し出があった。麻酔記録を取り寄せたところ、3回とも吸入麻酔で全身麻酔の維持が行われていた。今回は術後せん妄予防のため全身麻酔の導入、維持は全静脈麻酔で行い、術中から DEX を使用する方針とした。麻酔前投薬は投与しなかった。全身麻酔はプロポフォールとレミフェンタニルで導入し、ロクロニウムで筋弛緩を得た後に気管挿管した。維持はプロポフォールとレミフェンタニルで行い、手術開始時より DEX 投与を行った。ローディングは行わず 0.1 $\mu$ g/kg/hr で持続投与を開始した。手術終了後抜管し手術室を退室した。覚醒時興奮は認めなかった。麻酔時間4時間10分、手術時間3時間であった。翌朝までモニター下に DEX 持続投与を行ったが、せん妄や危険行動はなく、呼吸、循環抑制もみられなかった。

【考察】せん妄とは、急性に発生する一過性の精神障害で、意識レベルの変化、無秩序な思考、注意力障害などの特徴をもつ病態とされる。周術期においてせん妄は大きな問題であり、合併症発生の増加や在院日数の延長、死亡率の上昇につながる。DEX の特徴として、質の高い鎮静とせん妄の発生率が低いことが挙げられる。DEX の持続少量投与は、呼吸状態に対する影響が軽度であり、せん妄の予防のみならず治療への有効性も示唆されている。現在術後せん妄予防に対する DEX の適応はなく、使用時は患者の呼吸、循環状態について継続的な監視が重要である。DEX の①呼吸抑制が非常に小さい、②鎮痛作用も有する、③せん妄の予防、治療に有効、という特徴は、術後管理に適切な鎮静を提供できる可能性がある。

## 01-2

### 全身麻酔後に覚醒遅延をきたした1症例

○山口 聡

東葛病院 麻酔科

症例は80歳の男性。44歳と75歳時に全身麻酔後数時間の覚醒遅延をきたした既往があった。詳細は不明であるが数種類の睡眠薬やトラマドールで、意識障害、覚醒遅延をきたしたエピソードがあった。合併症として高血圧があるが、全身状態は良好で、認知症をはじめ精神神経疾患の合併はなく、高齢であるが理解力は良好であった。今回、右肘頭骨折に対して全身麻酔下の観血的整復固定術が行われた。導入は、フェンタニル 100 $\mu$ g、プロポフォール 130mgで行い、ラリンジアルマスクで気道確保した。維持は、デスフルラン 5%、レミフェンタニル 0.5~1.0 $\gamma$ で行った。手術時間は45分で、終了5分前にフェンタニル 100 $\mu$ gを投与した。筋弛緩薬、Nsaid は使用しなかった。終了と同時に薬剤投与を中止して純酸素で換気を行った。呼気デスフルラン濃度は速やかに2%以下に低下した。20分後には十分な自発呼吸が出現したが、JCS300の昏睡状態が持続した。瞳孔所見は、散瞳や左右差はなかった。触診や他動的には四肢の筋トーンの低下や亢進はなかった。ナロキソン 0.2mgを分割投与したが、意識状態に変化はなかった。低体温は認めず、血液ガス分析では低酸素血症、高二酸化炭素血症、電解質異常や低血糖はなかった。手術終了から105分後に、呼名開眼した。開口や掌握など指示従命も可能で呼吸循環動態も安定しており、ラリンジアルマスク抜去した。その後の覚醒状態は良好で、見当識障害はなかった。本症例の覚醒遅延の原因としては、麻酔薬や麻薬の中枢性の薬物動態や代謝に問題があることが考慮された。特に GABAA 受容体機能に何らかの変異をきたしている可能性があった。使用したレミフェンタニル、フェンタニルやトラマドールはオピオイド  $\mu$  受容体の特異的アゴニストであり、 $\mu$  受容体にも機能的な問題があることも示唆された。また、残存する複数の薬物が相乗的に作用して、血中濃度が低下しても覚醒遅延を起こした可能性も考えられた。

# 索引

SL：特別講演　EL：教育講演　LS：ランチョンセミナー　PD：パネルディスカッション  
S：シンポジウム　PCS：Pros vs Cons セッション　O：一般演題

あ	
相嶋 一登	<b>O11- 座長</b> , O8-7
相曾 啓史	O6-5
青木 和裕	O3-2
青木 宏介	O8-7
秋田 真吾	PD3-2
阿久澤 文彦	<b>O7-4</b>
阿久津 泰子	O4-5
浅井 邦也	O12-4
浅田 敏文	O10-1
朝田 瑞穂	O6-5
浅野 和宏	O12-2
浅野 健吾	<b>S-5</b> , O6-4
浅野 健太郎	O5-5
安達 一眞	<b>PD4-2</b>
安達 晃一	O2-4
安達 健	PD2-1
足立 佳也	O11-1
安部 隆三	PD1-4
天田 寿江	O1-5, O5-4
荒井 和美	O3-1
新井 正康	PD2-1
新井 祐貴	O6-3, O12-6
荒川 裕貴	PD1-2, O12-3
安藤 直朗	O3-3

い	
池田 督司	PD1-5, O12-7
池田 寿昭	<b>EL1- 座長</b>
生駒 祐介	<b>O2-2</b>
石井 健	<b>O8-6</b>
石井 宣大	<b>PD4- 座長</b>
石川 淳哉	O3-6, O4-3, O8-3
石田 彩樹	O1-4
石田 利江	PD3-2
石高 拓也	O5-3, O12-5
石松 伸一	O3-2
石山 真寿子	O1-5, O5-4

市川 通太郎	O6-8
市場 晋吾	<b>PD1- 座長</b> , PD1-5, O12-7
一林 亮	<b>O5-2</b> , O7-5
井出 奈緒	<b>O9-6</b>
出井 真史	O3-6, O4-3, O8-3
出光 亘	O2-5
伊藤 孝子	<b>O4-1</b> , O9-2, O9-3
伊藤 恵	O11-5
伊藤 佑司	O1-5
稲川 博司	PD3-1, O6-1
稲葉 和人	O6-1
井上 和明	O7-2
井上 元	O7-2
猪口 星利奈	O5-5
井口 竜太	O10-1
伊野田 絢子	O11-1
今泉 均	O7-6
今枝 太郎	PD1-4
今村 浩	S-1, O8-2
岩崎 夢大	O6-2
岩下 具美	<b>O10- 座長</b> , O6-8

う	
植倉 弘智	<b>O10-5</b>
上田 朝美	O11-3
上野 昌輝	O10-4
上野 桃子	O1-3, <b>O1-6</b>
鵜川 豊世武	O6-5
宇佐美 知里	O1-4
鵜澤 康二	O3-3
磨田 裕	O8-7
内田 淳	<b>O10-4</b>
内野 滋彦	O6-4
内野 博之	O7-6
内山 沙央里	O12-4
卯津羅 雅彦	O8-4, O8-5
宇野 智仁	O3-1

浦上 雄平	<b>O3-4</b>
浦澤 方聡	O8-2

え	
江川 裕人	O4-3
江口 敬広	O5-3, O12-5
江口 友英	PD1-1
江連 雅彦	O12-8
戎 初代	<b>PD3-4</b>
遠藤 新大	O6-4
遠藤 聡	O1-1

お	
麻植 一孝	O8-5
大久保 奏美	<b>O9-2</b> , O9-3
大久保 訓秀	O11-1
大嶋 清宏	<b>O3- 座長</b>
大島 拓	<b>PCS1-1</b>
太田 圭	O3-6, O4-3, O8-3
大高 麻衣子	O6-3, O12-6
大谷 尚也	PD2-1
大塚 明子	O1-5
大塚 将秀	<b>EL5- 座長</b>
大槻 穰治	<b>O8- 座長</b>
大野 慶伍	O5-3, <b>O12-5</b>
大野 孝則	O7-2
大森 亜紀子	O4-3
岡崎 大武	O12-4
岡田 亜砂子	<b>O8-1</b>
岡田 修一	<b>O12-8</b>
岡田 保誠	PD3-1, O6-1
緒方 暁彦	O11-1
尾形 育美	<b>O9-5</b>
岡部 慎一	O1-1
岡部 芳昭	PD3-2
岡村 達	O2-3
岡村 真由美	O9-7
岡本 賢太郎	O10-3

岡本 知恵 O2-1  
 岡本 浩嗣 PD2-1  
 小川原 葵 O6-8  
 隠岐 真弓 O6-7  
 沖田 綾乃 **O7-6**  
 奥田 淳 O2-2  
 小口 萌 **O11-2**  
 奥寺 敬 **LS3**  
 奥野 憲司 O8-4, O8-5  
 小倉 崇以 **LS1**  
 尾崎 裕基 **PD5-2**  
 小澤 拓郎 O5-1, **O11-5**  
 織田 成人 **EL1, S-4**  
 落合 亮一 O2-5  
 鬼丸 大知 **O7-1**

## か

加我 徹 O12-8  
 嘉数 智亮 O6-6  
 柿沼 玲史 O7-1  
 柿沼 麻耶 O5-5  
 柿沼 勇太 O2-2, O11-3  
 河西 美生 **O9-7**  
 笠原 道 PD1-2, O12-3  
 柏 公一 PD4-4  
 梶原 吉春 **PD4- 座長**, O5-3, O12-5  
 粕谷 泰道 O1-1  
 加瀬 美郷 **O4-2**  
 鹿瀬 陽一 **O6- 座長**, O8-4  
 片瀬 葉月 O5-3, O12-5  
 方山 真朱 O11-4  
 片山 延哉 O11-2  
 香月 姿乃 **O7-2**  
 加藤 建吾 **PD2-2**, O3-4, **O4-4, O4-5**, O9-4  
 加藤 早希 O5-5  
 加藤 崇央 **O1- 座長**, O11-1  
 加藤 隆宏 PD4-2  
 加藤 野乃 O6-7  
 金澤 正浩 O5-1  
 金澤 祐太 O12-8  
 金本 匡史 O1-4, O6-3, O12-6

金子 仁 PD1-2, O12-3  
 鎌田 健一 O1-1  
 上條 泰 S-1, O8-2  
 神山 彩 O6-3, O12-6  
 神山 慧子 O3-1  
 神山 淳子 **EL3- 座長**  
 神山 治郎 O3-7  
 亀井 大悟 O3-6, **O4-3**, O8-3  
 亀ヶ谷 泰匡 **EL3**  
 華山 悟 O7-1  
 川口 剛史 O10-3  
 川下 正幸 O5-2  
 河田 圭司 O10-4  
 河田 光弘 O12-1  
 川村 雄介 **PD3-1, O6-1**  
 神崎 俊治 O8-7  
 神田 潤 **O10-2**

## き

北村 拓也 O8-5  
 北村 伸哉 **O6- 座長**  
 北村 真友 O2-3  
 橘田 文彦 O10-4  
 木下 麻紀 PD3-1, O6-1  
 金 泰秀 O3-7  
 木村 昌平 O8-5  
 木村 徳宏 **O12-2**  
 木村 友則 O11-2  
 許 俊鋭 O12-1  
 清澤 研吉 O8-2  
 清田 和弘 **PD5-3**  
 清田 和也 O3-7

## <

久下 恒明 PCS1-2  
 久保 仁 PD4-4  
 倉田 早織 **O6-4**  
 栗田 健郎 PD1-4  
 黒岩 政之 PD2-1  
 黒川 右基 O11-1  
 桑原 政成 O8-6

## け

源田 雄紀 PD1-5, **O12-7**

## こ

小池 朋孝 PD2-1  
 鯉沼 俊貴 O11-4  
 鯉沼 郁也 O6-3  
 光銭 大裕 O12-3  
 合田 浩紀 **O12-4**  
 幸地 政宏 O9-5  
 神津 成紀 O7-3  
 神山 智幾 O3-3  
 小島 啓 O11-1  
 小竹 良文 **O8- 座長**  
 古田島 太 PD5-1  
 小谷 透 **EL5**  
 小谷 真理子 O3-3  
 小谷 祐樹 **S-3**  
 小寺 由人 O4-3  
 後藤 崇夫 **O2-4**, O3-4  
 後藤 祐也 O11-4  
 小林 孝子 O5-5  
 小林 利道 O5-5  
 小林 直樹 O6-6  
 小林 宣明 O12-4  
 小林 雅矢 O1-3  
 小林 瑞枝 O1-4  
 小堀 憂子 O3-1  
 小正 江里奈 O4-1  
 小松 孝行 PD3-2  
 小松 由佳 **PD3-5**  
 小山 薫 O11-1  
 小山 寛介 O11-4  
 小山 知秀 O12-3  
 金剛寺 まり子 O9-3  
 近藤 彰彦 PD3-2  
 近藤 乾伍 O11-2  
 權頭 嵩 O10-1

## さ

斉木 巖 O7-6  
 西周 祐美 O3-6, O4-3, O8-3  
 齋藤 敬太 O6-4

齋藤 繁 O6-3, O12-6  
 齋藤 慎二郎 O6-4  
 齋藤 美和 O9-5  
 阪井 茉有子 PD2-1  
 坂上 浩一 O2-1  
 坂本 篤裕 O12-7  
 坂本 佳津江 O5-4  
 坂元 さやか O6-7  
 坂本 哲也 LS3-座長, O10-2  
 坂元 美重 LS3  
 坂本 友紀 O9-1  
 佐久間 伸博 PD4-4  
 櫻井 裕教 O2-2, O11-3  
 佐々木 純 O7-座長, O7-2  
 貞広 智仁 PCS1-座長, O11-2  
 佐藤 明善 O1-1  
 佐藤 彩 O10-1  
 佐藤 健太郎 O8-7  
 佐藤 武志 O5-座長, O8-7  
 佐藤 達志 O12-2  
 佐藤 直樹 EL4  
 佐藤 暢夫 O3-6, O4-3, O8-3  
 佐藤 暢一 O2-5  
 佐藤 浩之 O8-4, O8-5  
 佐藤 裕一 PD1-2, O12-3  
 讚井 將満 O1-3, O1-6, O6-2, S-座長  
 佐野 敦史 O9-1  
 澤村 成史 O7-1  
 三軒 豪仁 O12-2

## し

塩田 修玄 O6-5  
 塩塚 潤二 O6-2  
 志賀 英敏 LS2-座長, O11-座長  
 鹿間 健志 O2-6  
 重光 秀信 PD2-4, O6-5  
 柴田 祐作 O12-4  
 渋谷 綾子 O6-3, O12-6  
 渋谷 有香 O6-5  
 島 惇 O11-4  
 島 完 O8-6

島内 淳二 PD2-3  
 島居 傑 S-4  
 清水 敬樹 PD1-2, O12-3  
 清水 彩里 O8-2  
 清水 涉 O12-2  
 志村 欣之介 PD4-5  
 下田 純平 PD4-4  
 庄古 知久 O5-5  
 白壁 章宏 O12-4

## す

菅 なつみ PD1-4  
 菅原 久徳 O10-4  
 杉田 学 PD3-2  
 杉峰 里美 O6-3, O12-6  
 杉山 耕一 O1-1  
 杉山 由紀 O8-2  
 鈴木 銀河 O5-2, O7-5  
 鈴木 景子 O2-1, O6-3  
 鈴木 武志 LS4-座長  
 鈴木 源 O3-7  
 鈴木 大聡 O12-3  
 鈴木 裕之 O12-座長, PCS3-2  
 鈴木 正彦 O10-4  
 鈴木 茂利雄 O12-3  
 鈴木 悠太 O2-2, O11-3  
 鈴木 優太郎 PD2-1  
 壽原 朋宏 O2-2, O11-3

## せ

清野 雄介 O3-6, O4-3, O8-3  
 関 厚一郎 O2-7  
 関口 幸男 O3-座長  
 関澤 梢 O3-1  
 関根 秀介 O7-6  
 関根 利江 PD3-3  
 関根 玲子 PD1-1  
 関谷 理 O8-7

## そ

相馬 泉 PCS2-2  
 咀手 善久 O6-8

## た

平 泰彦 O10-3  
 多賀 直行 O3-1  
 高井 大輔 O2-6  
 高澤 知規 O6-3, O12-6  
 高島 妙子 O3-1  
 高瀬 凡平 EL4-座長  
 高田 亮 O6-3, O12-6  
 高根澤 真希 O3-4, O4-4, O4-5, O9-4  
 高野 仁司 O12-2  
 高橋 希 S-4  
 高橋 英夫 O6-5  
 高橋 ひとみ O3-3  
 高橋 幸恵 O4-1  
 田上 隆 LS1-座長  
 高三野 淳一 O10-4  
 高安 弘美 O7-2  
 高山 千尋 O3-2  
 瀧聞 浄宏 O2-3  
 田北 無門 O10-3  
 瀧浪 将典 O6-4  
 田口 茂正 O3-7  
 武居 哲洋 O4-座長  
 竹内 純子 PD1-4  
 武田 聡 O8-4, O8-5  
 竹部 久美子 O5-4  
 竹前 彰人 O6-3, O12-6  
 田澤 和雅 O11-1  
 多田 勝重 O7-3  
 立石 順久 PD1-4  
 田中 太郎 O12-5  
 田中 満理恵 O6-3, O12-6  
 田中 佑樹 PD3-1, O6-1  
 田中 由紀子 O3-1  
 田邊 由美子 O3-1  
 谷 憲一 O12-4  
 谷口 隼人 O12-7  
 田村 誠志 O12-6  
 田山 聡子 O9-座長  
 太良 修平 O12-2

ち	
千田 康之	O11-5
張 京浩	O7-1

つ	
津久田 純平	O10-3
辻 一宗	PD1-1
辻 俊幸	O1-1
堤 博志	O8-7

て	
寺田 享志	<b>O2-5, O5-2</b>

と	
土井 研人	<b>PCS2- 座長,</b> PD4-4, O2-6, O10-1
藤内 研	O11-4
東山 智子	O4-4, O4-5, O9-4
土肥 謙二	O7-2
戸部 賢	<b>O1- 座長,</b> O2-1, O6-3, O12-6
富岡 義裕	<b>O5-1, O6-6,</b> O11-5
戸谷 遼	O2-2

な	
内藤 貴基	O10-3
中江 竜太	O12-2
中川 雅史	O3-6, O4-3, <b>O8-3</b>
中澤 春政	O3-3
中島 博子	<b>O1-5</b>
中島 義博	<b>O5-3,</b> O12-5
長島 道生	<b>PD2- 座長,</b> <b>PD2-4,</b> O6-5
中田 淳	O12-2
中田 孝明	PD1-4, S-4
長田 大雅	O2-2, O11-3
長友 香苗	O1-3, O1-6
中村 香代	O6-7
中村 謙介	<b>LS4, S-2</b>
中村 真巳	PD5-1
中山 純子	<b>O11-3</b>
中山 舞	<b>O9-1</b>

南雲 一洋	O6-3, O12-6
行木 太郎	O8-4
奈良 岳志	O5-1
鳴海 心光	<b>O9-3</b>

に	
新山 和也	<b>PD5-1</b>
西口 沙希	<b>O1-7</b>
西澤 義之	PD2-1
西田 博	<b>PD1- 座長</b>
西田 昌道	O8-6
二藤部 英治	PD1-1
貫井 陽子	O6-5

ぬ	
布宮 伸	<b>PD3- 座長,</b> O11-4

の	
野入 英世	<b>LS2</b>
野口 ゆう子	O6-7
野村 岳志	<b>PD3- 座長,</b> O3-6, O4-3, O8-3
野村 智久	<b>PD3-2</b>

は	
萩原 祥弘	PD1-2, <b>PCS3-1,</b> O12-3
挟間 しのぶ	O8-5
長谷 充康	O6-6
長谷川 意純	O8-5
長谷川 一貴	<b>O3-7</b>
長谷川 豊	O12-8
長谷川 隆一	<b>O7-3</b>
畑 貴美子	O3-4, O4-4, O4-5, O9-4
羽田野 義郎	O6-5
八反丸 善裕	<b>PD4-4</b>
服部 憲幸	<b>PCS3- 座長,</b> <b>PD1-4</b>
濱口 純	<b>PD1-2,</b> O12-3
濱田 裕久	O8-6
濱野 裕美	O6-3
早川 桂	O3-7

林 宗貴	O7-2
林 淑朗	S-3, <b>EL2- 座長</b>
早瀬 直樹	O2-6, O10-1

ひ	
日尾 早香	O12-6
比田井 理恵	<b>O9- 座長</b>
日野原 宏	O6-3, O12-6
平澤 博之	<b>SL</b>
平澤 真美	O9-5
平沼 浩一	O8-5
平山 一郎	O10-1
比留間 孝広	O2-6, O10-1
廣江 貴則	O8-4

ふ	
深澤 寛明	<b>O6-8</b>
福井 公哉	O3-6, O4-3, O8-3
福泉 偉	O12-2
福島 東浩	O8-4
福田 賢一郎	O7-2
藤田 識志	O8-2
藤田 治人	O11-3
藤谷 茂樹	O10-3
藤本 正弘	<b>O8-7</b>
古市 結富子	<b>O5- 座長</b>
古川 エミ	PD1-1
古川 恵太郎	O3-2
古川 豊	PD1-4
古澤 圭壺	O5-2
古橋 龍彦	O5-2
降旗 理恵	O5-2
古厩 智美	<b>PD5-4</b>

ほ	
星野 丈二	O12-8
星野 正己	<b>O7- 座長</b>
細川 雄亮	O12-2
穂積 菜穂	O4-1
堀江 良平	O10-1
本多 満	O5-2, O7-5

ま	
前田 興範	O6-6
牧野 淳	O2-4, O3-4, O4-4
梶田 宏輔	O1-1
増田 孝広	O6-5
増野 智彦	O12-2
増山 智之	O1-3, O6-2
増山 素道	PD1-5
間瀬 大司	PD1-5, O12-7
松井 祐介	O6-3, O12-6
松浦 千穂	O11-1
松尾 貴公	O3-2
松岡 宏晃	O6-3, O12-6
松岡 未紗	O2-1
松田 明久	PCS1-2
松田 兼一	SL-座長, O9-7, O10-4
松田 淳也	O12-2
松村 洋輔	PD1-4
松本 建志	O3-5
松本 晶平	O5-1, O11-5
松本 優	PD4-2
眞野 暁子	O12-1
丸山 登	O2-1
丸山 史	O6-5

み	
三木 隆弘	EL6, PD1-1, PD4-1
三島 健太郎	PD3-2
三島 有華	O6-5
水野 慶子	PD3-2
三田 篤義	O8-2
光成 誉明	O1-1
箕浦 安祐	O10-3
宮城 朋果	O3-4
三宅 康史	O10-座長, PD1-2, O10-2, O12-3
宮崎 夏未	O7-6
宮下 亮一	PD1-3
宮野 七美	O6-5
宮本 和幸	O7-2

む	
武者 汽	O6-7
村上 徹	O8-2
村上 学	O3-2
村田 知洋	O12-1
室岡 由紀恵	O6-3, O12-6

も	
望月 勝徳	S-1
望月 聡子	O12-6
望月 将喜	O2-6
森 幸太郎	S-1
森 直紀	O5-5
森 信好	O3-2
森口 武史	S-座長, O9-7, O10-4
森崎 浩	EL2, O2-2, O11-3
森實 雅司	PD4-3, PCS2-1
森澤 健一郎	O10-3
森下 寛之	O12-8
森田 典子	O5-2
森戸 知宏	O11-2
森村 尚登	O2-6, O10-1
守谷 俊	O2-座長, O6-2
森安 恵実	PD2-1
森山 潔	O3-3
茂呂 悦子	PD5-座長
諸橋 優佑	O12-3
諸橋 優祐	PD1-2

や	
八木橋 智子	PD2-座長, O1-3, O1-6
安河内 聰	O2-3
安田 篤史	O7-1
安丸 諒	O5-5
柳田 浩義	O2-1
柳谷 信之	O6-8
山川 耕司	O6-8
山岸 利暢	O3-5
山口 晃典	O8-2
山口 聡	O1-2
山崎 敦子	O1-4

山下 芳久	EL6-座長
山田 高成	O2-2
山田 奈々	O1-4
山田 靖之	O12-8
山田 有希子	O2-3
山中 光昭	PD1-1, PD4-1
山村 絵美	O8-5
山本 咲	O7-5
山本 高照	O8-2
山本 剛	O2-座長, O12-2
山本 智子	O9-1
山本 裕子	O12-座長
山本 雅一	O4-3
山本 雅弘	O9-7
山本 由美	PD3-1, O6-1

ゆ	
湯澤 紘子	O11-2
湯澤 基	O3-5

よ	
横田 泰佑	O3-3
横田 裕行	O12-2
横田 茉莉	O8-6
吉澤 剛幸	PD1-5
吉田 拓生	O6-4
吉田 拓也	O3-6, O4-3, O8-3
吉田 直人	O1-3, O1-6
吉田 紀子	PD5-座長
吉田 英樹	O10-3
吉田 寛	PCS1-2
吉田 莉子	O5-5
萬 知子	O3-3

わ	
若杉 雅浩	LS3
若林 健二	O6-5
若林 諒	O8-2
渡辺 郁子	O4-座長
渡邊 正志	O5-2
渡辺 雅之	O5-2, O7-5
渡邊 恭通	PD4-4

# 支部に関する細則

## 目 的

第 1 条 この細則は定款第 4 条の支部について定めることを目的とする。

## 支部の設置

第 2 条 一般社団法人日本集中治療医学会（以下、「この法人」という）に、次の各項の支部をおく。

- (1) 北海道支部
- (2) 東北支部
- (3) 関東甲信越支部
- (4) 東海・北陸支部
- (5) 関西支部
- (6) 中国・四国支部
- (7) 九州支部

## 事 務

第 3 条 支部の事務は、この法人の事務局が処理する。

## 支部会員

第 4 条 この法人の会員は、主たる勤務施設の所在地を管轄する支部に属するものとする。ただし、現に勤務する施設がない者については、その者の居住地による。

## 役 員

第 5 条 支部には支部長ならびに支部運営委員をおくことができる。

- 2) 支部長は支部運営委員会が推薦し、この法人の理事会が承認する。支部長は当該支部の業務・運営責任者となる。
- 3) 支部運営委員は支部長が推薦し、この法人の理事会が承認する。
- 4) 支部運営委員は医師、看護師、臨床工学技士等で構成し、支部長を含め 15 名以内とする。
- 5) 支部長ならびに支部運営委員の任期は 2 年（1 月 1 日から 12 月末日迄）とし、再任を妨げない。ただし、支部長は通算 4 年を超えて再任されないものとする。
- 6) 補欠または増員により選任された委員の任期は前任者または現任者の残任期間とする。

## 支部運営委員会

第 6 条 支部運営委員会は、支部の管理・運営および予算・事業計画を協議するものとする。

- 2) 支部運営委員会は、支部長が必要と認めたとき、または過半数以上の委員の開催要求があったときに開催しなければならない。
- 3) 支部運営委員会は、支部長が招集し、議長を務める。
- 4) 支部運営委員会を招集するときは、支部運営委員に開催日の 1 週間前までに通知しなければならない。
- 5) 支部運営委員会の議事は、支部運営委員の過半数が出席し、その過半数をもって決する。

## 支部連絡協議会

第 7 条 支部運営委員会は、その下部組織として支部連絡協議会をおくことができる。

## 支部名誉会員・支部功労会員

第 8 条 支部運営委員会は、当該支部に特に功労のあった 65 歳以上の会員の中から、支部名誉会員および支部功労会員を選任することができる。

## 管理・運営

第 9 条 この細則に定める事項のほか、支部の管理・運営はこの法人の理事会で定める方針に基づいて各支部が行う。ただし、経費および事務はこの法人の事務局が行う。

## 報 告

第10条 支部長は次の項目をこの法人の事務局に提出しなければならない。

(1) 事業計画書および予算案

(2) 事業報告書

2) 前項第1号の書類は毎年9月末日まで、第2号の書類は毎年12月末日までに提出しなければならない。

## 細則の改定

第11条 この細則はこの法人の理事会の議により改定することができる。

付 則 この細則は、2017年1月1日から施行する。

2017年9月15日改定

2018年9月27日改定

# 支部学術集会運営細則

## 目 的

第 1 条 この細則は、一般社団法人日本集中治療医学会（以下、この法人）定款第 38 条第 4 項に定める学術集会のうち、この法人が主催する支部学術集会の運営について必要な事項を定める。

## 定 義

第 2 条 支部学術集会とは、講演あるいは会員の研究発表等を通じ、会員の知識の啓発及び研究成果の社会還元を目的とし、当該支部地域において毎年 1 回定期的に開催する集会をいう。

## 会 長

第 3 条 支部学術集会を運営するために、支部学術集会会長（以下、会長）を 1 名おく。

## 会長の選任

第 4 条 会長の選任は、支部運営委員会が推薦し、この法人の理事会の承認を受ける。

2. 会長の選出は、担当年度開始の 3 年前に行う。

## 会長の義務

第 5 条 会長は、支部学術集会開催にかかる業務を担当する。

2. 会長に事故ある時は、代行者、または後任者を支部運営委員会が推薦し、この法人の理事会の承認を受ける。
3. 会長は、支部学術集会開催後は速やかに開催の概略を支部長に報告し、翌年 1 月末までに最終報告書を提出する。

## 会長の任期

第 6 条 会長の任期は、担当する事業年度の 1 年とする。

## 組 織

第 7 条 会長は、支部学術集会プログラムを決定する権限を有する。

2. 支部長は、支部学術集会に関する報告をこの法人の理事会に行うものとする。

## 守秘義務

第 8 条 支部運営委員は、採否確定前の演題等、審議中に知り得た事項を外部に漏らしてはならない。

## 開催日等

第 9 条 開催日ならびに会場は、会長が支部運営委員会と協議のうえで決定し、支部長を通じて理事会に報告する。

2. 複数の支部学術集会開催予定日が同一となる場合には、この法人の理事会が調整することができる。

## 参加登録

第 10 条 この法人の事務局に本会の会員として登録したものは、参加費を納入することで支部学術集会に参加、発表を行うことができる。ただし会長が認めたものは、非会員でも参加費を納入することで参加、発表を行うことができる。

## 採否等

第 11 条 支部学術集会に申し込まれた発表は、会長が選任した査読者により査読を行う。

## 細則の変更

第 12 条 この細則は、理事会の議により変更できる。

## 附 則

この細則は、2017 年 1 月 1 日から施行する。

日本集中治療医学会関東甲信越支部

役 員

2019年6月19日現在

支 部 長

布宮 伸

運営委員会

大塚 将秀	織田 成人	梶原 吉春	佐藤 直樹	讚井 将満	高瀬 凡平
武居 哲洋	西田 博	布宮 伸	松田 兼一	明神 哲也	森崎 浩
茂呂 悦子	八木橋智子	山本 剛			

支部名誉会員

天羽 敬祐	池田 寿昭	一色 淳	磨田 裕	岡元 和文	笠間 晁彦
上松瀬勝男	木村 満	国元 文生	窪田 達也	黒川 顕	齋藤 宗靖
崎尾 秀彰	三川 宏	島崎 修次	菅井 桂雄	住吉 徹哉	相馬 一亥
高野 照夫	高山 守正	武田 純三	田中 啓治	豊岡 秀訓	長尾 建
根津 武彦	長谷川嗣夫	羽鳥 文麿	花岡 一雄	原口 義座	平澤 博之
福家 伸夫	藤田 達士	細田 瑳一	水谷 太郎	三高千恵子	本宮 武司
安本 和正	山科 章				

支部連絡協議会

有馬 健	石松 伸一	井上 貴昭	岩下 具美	岩下 眞之	内山 隆史
大嶋 清宏	大谷 典生	大塚 将秀	大槻 穰治	小澤 拓郎	織田 成人
鹿瀬 陽一	加藤 崇央	木多 秀彰	北村 晶	倉石 博	小竹 良文
小山 薫	齋藤 繁	坂本 篤裕	坂本 哲也	佐々木 純	佐藤 直樹
讚井 将満	志賀 英敏	鈴木 武志	鈴木 裕之	鈴木 康之	関口 幸男
芹田 良平	多賀 直行	高瀬 凡平	高田 真二	高橋 伸二	武居 哲洋
竹田 晋浩	戸部 賢	中川 聡	中野 実	中村 教人	西田 博
西山 友貴	布宮 伸	長谷川 豊	長谷川隆一	林 淑朗	原口 剛
日野原 宏	古市結富子	星 拓男	星野 正己	松島 久雄	松田 兼一
松本 晶平	三浦 邦久	三宅 康史	宮田 和人	望月 俊明	森口 武史
森崎 浩	森村 尚登	守谷 俊	森山 潔	森脇龍太郎	柳田 国夫
山田 高成	山本 剛	伊藤 貴公	小幡 祐司	齋藤 美和	鈴木智恵子
田山 聡子	比田井理恵	明神 哲也	茂呂 悦子	八木橋智子	渡辺 郁子
相嶋 一登	石井 宣大	梶原 吉春	上岡 晃一	佐藤 武志	堀米 慎吾
三木 隆弘	森實 雅司	山下 芳久			

## 歴代会長・開催地

### 旧地方会

回	開催日	歴代会長	開催地
1	平成5年1月9日	藤田 達士	大宮ソニックシティ
2	平成5年12月11日	窪田 達也	大宮ソニックシティ
3	平成6年12月3日	関口 守衛	長野県松本文化会館
4	平成7年12月9日	平澤 博之	幕張メッセ日本コンベンションセンター
5	平成8年12月9日	天羽 敬祐	京王プラザホテル
6	平成9年12月6日	高野 照夫	文京シビックセンター
7	平成10年12月5日	一色 淳	京王プラザホテル
8	平成11年8月28日	齋藤 宗靖	全社協・灘尾ホール
9	平成12年8月26日	熊澤 光生	ベルクラシック甲府
10	平成13年8月25日	崎尾 秀彰	栃木県総合文化センター
11	平成14年8月31日	上松瀬勝男	日本大学会館 アルカディア市ヶ谷
12	平成15年8月30日	今井 孝祐	学術総合センター
13	平成16年8月28日	磨田 裕	パシフィコ横浜 会議センター
14	平成17年8月27日	山科 章	学術総合センター
15	平成18年8月19日	武田 純三	京王プラザホテル
16	平成19年8月25日	相馬 一亥	パシフィコ横浜 会議センター
17	平成20年8月30日	田中 啓治	東京ドームホテル
18	平成21年7月4日	岡元 和文	長野県松本文化会館
19	平成22年8月28日	安本 和正	東京ビッグサイト
20	平成23年7月30日	長尾 建	日本大学会館 アルカディア市ヶ谷
21	平成24年8月25日	國元 文生	前橋市民文化会館
22	平成25年8月24日	水谷 太郎	つくば国際会議場
23	平成26年8月23日	高山 守正	ステーションコンファレンス東京
24	平成27年8月29日	池田 寿昭	京王プラザホテル
25	平成28年8月20日	福家 伸夫	帝京大学 板橋キャンパス

### 関東甲信越支部学術集会

1	2017年7月29日	高瀬 凡平	大宮ソニックシティ
2	2018年6月30日	布宮 伸	栃木県総合文化センター
3	2019年7月27日	松田 兼一	甲府記念日ホテル

## 次回開催予定

### 日本集中治療医学会第4回関東甲信越支部学術集会

会 長：佐藤 直樹(かわぐち心臓呼吸器病院)

日 時：2020年7月11日(土)

会 場：パシフィコ横浜

(支部運営委員会 & 連絡協議会は前日開催予定)

## 協賛企業等一覧(五十音順)

### 機器展示

アイ・エム・アイ株式会社  
旭化成ゾールメディカル株式会社  
アバノス・メディカル・ジャパン・  
インク  
株式会社 ケアフォース  
コヴィディエン ジャパン株式会社  
シーメンスヘルスケア・  
ダイアグノスティクス株式会社  
泉工医科工業株式会社  
東レ・メディカル株式会社  
ドレーゲル ジャパン株式会社  
日本光電工業株式会社  
ネスレ日本株式会社  
ヒルロムジャパン株式会社  
フクダ電子長野販売株式会社  
有限会社 明倫堂書店

### ご 寄 付

旭化成ファーマ株式会社  
アステラス製薬株式会社

### 広 告

アボットジャパン株式会社  
MSD 株式会社  
株式会社 大塚製薬工場  
小野薬品工業株式会社  
シーメンスヘルスケア・  
ダイアグノスティクス株式会社  
真興交易株式会社 医書出版部  
泉工医科工業株式会社 関東支店  
松本営業所  
第一三共株式会社/  
アストラゼネカ株式会社  
武田薬品工業株式会社  
帝人ファーマ株式会社  
テルモ株式会社  
一般社団法人 日本血液製剤機構  
ノーベルファーマ株式会社  
ファイザー株式会社  
豊前医科株式会社  
扶桑薬品工業株式会社  
マコト医科精機株式会社  
株式会社 明治  
ラジオメーター株式会社

本学会の開催にあたり、ご協力いただきました各企業様には、深く感謝申し上げます。

日本集中治療医学会第3回関東甲信越支部学術集会

会 長 松田 兼一

日本集中治療医学会第3回関東甲信越支部学術集会  
プログラム・抄録集

---

2019年6月24日 発行

会 長：松田 兼一

事務局：山梨大学医学部 救急集中治療医学講座  
事務局長：森口 武史  
〒409-3898 山梨県中央市下河東1110  
TEL：055-273-9812 FAX：055-273-6716  
E-mail：jsicmkanto3rd-office@umin.ac.jp

出 版：株式会社セカンド  
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F  
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025  
<https://secand.jp/>

学術集会事務局



山梨大学医学部 救急集中治療医学講座

〒409-3898 山梨県中央市下河東1110

TEL: 055-273-9812 FAX: 055-273-6716